

熱気あふれる「とやま技塾」

とやま技塾は、熟練の技をもつ教師から、教科指導や生徒指導等における具体的な指導法や留意点について学ぶ研修会です。土曜日の午前中に開催し、毎回若手教員を中心に熱気あふれる講座となっています。

今年度第1回「時間を生み出す整理・整頓のアイデア」の講座では、実際に書類の分類について演習を行い、グループで意見交換を行いました。そして、講師から整理方法の助言をいただき、これまでの自分の整頓を見直しました。「ちょっとした心がけが、効率よく業務を行うことにつながるのですね」と、参加者の学びも大きかったです。今後の講座でも、参加教員が明日から使える技を身につけ、元気よく、自信をもって教育活動を行っていく一助となることを期待しています。



<第1回の講座から>

<今年度の内容>

	内 容	講 師	実施日
その1	時間を生み出す整理・整頓のアイデア	荒瀬 誠 (市教セ・指導主事)	6/9 (土)
その2	クラスルームイングリッシュを使いこなそう	只石展英 (市教委・指導主事)	6/23 (土)
その3	中心発問が子どもの心をゆさぶる	河原弘幸 (速星中・教頭)	7/7 (土)
その4	「読む」「書く」指導のパターンをマスターしよう	清水 新 (豊田小・教諭)	8/4 (土)
その5	奏でる音色が苦手な子どもの気持ちを動かす	直井美幸 (大沢野中・教諭)	8/18 (土)
その6	これが決め手!子どもの安心感と所属感を高める学級環境	須波昌美 (速星中・教諭)	9/1 (土)
その7	彫刻刀が生む作品の勢い	井林優子 (樫尾小・教頭)	9/8 (土)
その8	全員が跳べた!場の工夫ひとつで意欲倍増	峠 修一 (大沢野小・教諭)	9/29 (土)
その9	かかわりのチャンスを見逃さないで!	伊東真利子 (堀川小・教諭)	11/10 (土)
その10	先生の字が変われば子どもの字も変わる	嘉義志津子 (山室小・教諭)	11/17 (土)

ネット社会を安全に生きるために 「情報モラル中1講座」

自分のスマートフォン等を持ち始めることの多い中学1年生の時期に、ネットに関する正しい知識を身につけ、情報化社会の中で有益に使用しようとする生徒の育成を願い行ってきた「情報モラル中1講座」も、今年度で3回目となりました。

ある学級の講座で、次のようなやりとりがありました。

指導員：スマートフォンの使用率が30%を超えるのは、何歳ぐらいでしょう。
 生徒：10歳くらい? (「6歳」「8歳」とつぶやきが聞こえてきます)
 指導員：正解は、2歳です。
 生徒：ええーっ!そんなに小さいの? (学級がどよめく)
 生徒：そう言われたら、親戚の小さい子どもが動画でアニメをよく見ているよ。
 生徒：ちょっと早すぎない?問題があるよ!

日々進化するネット社会は、子どもたちに与える影響も変容していきます。この学級の生徒も「まさかそこまで低年齢化しているとは・・・」という思いをもったのでしょうか。この講座を通して、自分とネットのかかわりについて見つめ直し、よりよい使い方を実践しようとする機会となっていくことを願っています。

<生徒の感想より>

これから生きていく中でネットモラルを学ぶことは絶対必要なので、忘れないようにしたいです。自分の判断力を高め、その使い方がいいことなのか悪いことなのかを考えたいと思います。

これからネットをどんどん使っていくと思いますが、このような知恵を学ぶことは大切だと思いました。ネット社会の危険から自分を守っていきたくて思いました。



<「情報モラル中1講座」の様子から>